

産業廃棄物処理施設維持管理記録簿[安定型](平成 29年 1月度)

埋め立てた産業廃棄物の種類及び数量[規12条の7の3の3イ]

種類	数量(単位)	
廃プラスチック類	0.0000	(t/月)
ゴムくず	0.0000	(t/月)
金属くず	0.0000	(t/月)
ガラスくず及び陶磁器くず	3.3200	(t/月)
がれき類	0.0000	(t/月)
アスベスト含有 ガラス.陶磁器	4.0800	(t/月)
〃 プラスチック	0.0600	(t/月)
〃 金属くず	0.0000	(t/月)
〃 がれき	0.0000	(t/月)
	7.4600	(t/月)

展開検査の実施状況[規12条の7の3の3ハ]

実施回数	11台 11回
展開検査の場所	別紙1の「場内見取図」の通り
安定型産業廃棄物以外の 廃棄物の付着又は混入が 認められた年月日	平成 年 月 日
	平成 年 月 日
	平成 年 月 日
	平成 年 月 日

浸透水のBOD又はCOD検査の実施状況と措置(月1回実施)[規12条の7の3の3ニ及びホ]

採取場所	別紙1の通り*1(浸透水採水2号)	
採取日	平成29年1月23日	
分析結果が得られた日	平成29年2月6日	
BOD*2		基準値 20mg/l以下
COD*2	4.1mg/l	基準値 40mg/l以下
異常の有無	有 ・ 無	
必要な措置を講じた年月日 と内容		

水質検査の実施状況と措置(年1回測定)[規12条の7の3の3ニ及びホ]

採取場所	別紙1の通り*1	別紙1の通り*1	別紙1の通り*1
採取日	平成29年1月23日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
分析結果が得られた日	平成29年2月6日	平成 年 月 日	平成 年 月 日
分析結果	別紙2の通り*3	別紙2の通り*3	別紙2の通り*3
異常の有無	有 ・ 無	有 ・ 無	有 ・ 無
必要な措置を講じた 年月日と内容	1月6日 環境センターを訪問。 小柴課長代理、秋山主査2名。 昨年7月に検出された「鉛」の 継続的監視と原因究明の為の 分析項目及び頻度、今後の 継続監視についてと将来的な 上流・下流分析井戸、浸透水 採水設備の設定について アドバイスを頂いてきました。 PM1時~2時半過ぎ、武藤。	2月6日の地下水質分析結果 が届きました。 昨年7月の「鉛」が検出された 7-1、7-2号井戸で環境基準値を 超える0.013mg/l、0.014mg/lが 検出されました。 6日午後から環境センターに 報告に伺う予定です。	

施設の点検[規12条の7の3の3ロ]

	擁壁等
点検日	平成29年1月23日
異常の有無	有 ・ 無
必要な措置を講じた年月日及び当該措置の内容*4	平成 年 月 日 国道脇に設置した処分場を案内する「立て看板」の更新 許可申請を1月26日 新発田地域振興局地域整備部 庶務課 行政係宛郵送にて終了しました。 後日電話連絡を頂戴し、県の収入証紙の貼り付けが 無かったということで1月30日、規定代金の収入証紙を購入し 届けてきました。後日、「受理印」を押印した写しを 当社保管用に下さるということです。

*1 処分場の平面図に位置を明示すること。 *2 いずれかを記載すること。 *3 別紙2に記載するか計量証明書を添付すること。 *4 異常が認められた場合のみ記入すること。